

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 愛信芳主会	代表者	塚本主恵夫	法人・ 事業所 の特徴	カトリック精神に基づき愛と真心を持って福祉事業に努める。 「施設理念」として①笑顔を提供する ②とにかくやってみる ③残りの時間を大切に考える ④本人や家族の想いを考える ⑤プロとして学び行動する
事業所名	丘の上倶楽部	管理者	亀井裕之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	①常勤はスタッフ個別評価へのコメント記入を徹底します ②中間点で目標の再確認と達成度の評価を取り入れる	①スタッフの参加は確認できた。 ②中間点での再確認は出来なかった。	取組みへのスタッフの参加は確認できた。 雇用形態などで参加意識に差が見られた。	①常勤はスタッフ個別評価へのコメント記入を徹底します。 ②中間点で目標の再確認と達成度の評価を取り入れる ※簡易的で良い 評価を開始する前 10月頃
B. 事業所のしつらえ・環境	①運営推進会議の開催場所を事業所内に変更し、様子が判るようにする ②植え込み等外回りの手入れを実施し、外観の景観に配慮する	①昨年後半より開催場所を事業所内に移し、様子が判るようになった。 ②植え込みなどは業者に依頼して草刈りや剪定を行っている。	利用者が過ごしている様子が確認出来た。 業者による剪定などは費用も掛かるのではないかと。	①会議開催場所は継続し事業所ダイルームとする。 ②外観や植え込みの手入れも継続し景観に配慮する。
C. 事業所と地域のかかわり	①所在地区以外に近隣の町会にも活動の場を広げ、イベント等に参加する機会を確保します ②休日や夜間でも職員が居る事を周知し、困った時の相談先として認知してもらう	①八王子市内で行われるイベントや行事には参加出来た ②相談には随時対応しているが、具体的にPRは出来ていない	みなみ野駅前などのイベントに参加してはどうか。 相談窓口としての認知はされていない。	①片倉地区、みなみ野地区でのイベント参加を試みる。 ②広報誌などを用意し、近隣町会などへ配布を行う。そのための町会窓口との関わりを持つ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	①利用者が今まで行っていた場所への同行など、自宅での生活を継続する支援をします	①一部の方で実施できたが、全員のニーズを実施出来てはいない	買い物や受診、趣味活動への送迎など事業所以外での支援が一部の方では出来ていた。	①今まで行っていた場所へこれからも行けるよう支援を行う。 ②地域での催しなどへの参加を支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	①推進会議への参加者を増やすため、土日祝日の開催を取り入れる ②個別の事例についての報告を行い、検討する機会を取り入れる	①土曜日開催を実施し、参加された家族もいた。 ②個別の事例についての状況や報告を行った。	土曜日開催を1回行い、数名の家族参加が出来た。 個別事例についての報告や検討を行った。	①土日祝日での開催を1～2回実施する。 ②個別事例についての報告や検討を継続する。
F. 事業所の防災・災害対策	①地域の防災訓練に参加します ②地域の防災訓練に高齢者や障害のある方の避難訓練を取り入れてもらう ③BCP（事業継続計画）についての訓練を実施する	①地域の防災訓練には参加している。 ②自主防災会との訓練連携は出来なかった。 ③BCP訓練は実施していない。	自主防災会の訓練には参加しているが、事業所の訓練への参加は呼び掛けていない。 災害による直接的な被害と計画運休などによる職員確保の問題がある	①BCPについての訓練を実施する。特に計画運休時の職員確保について確認を行う。 ②地域の防災訓練に車いすの操作などを取り入れてもらう